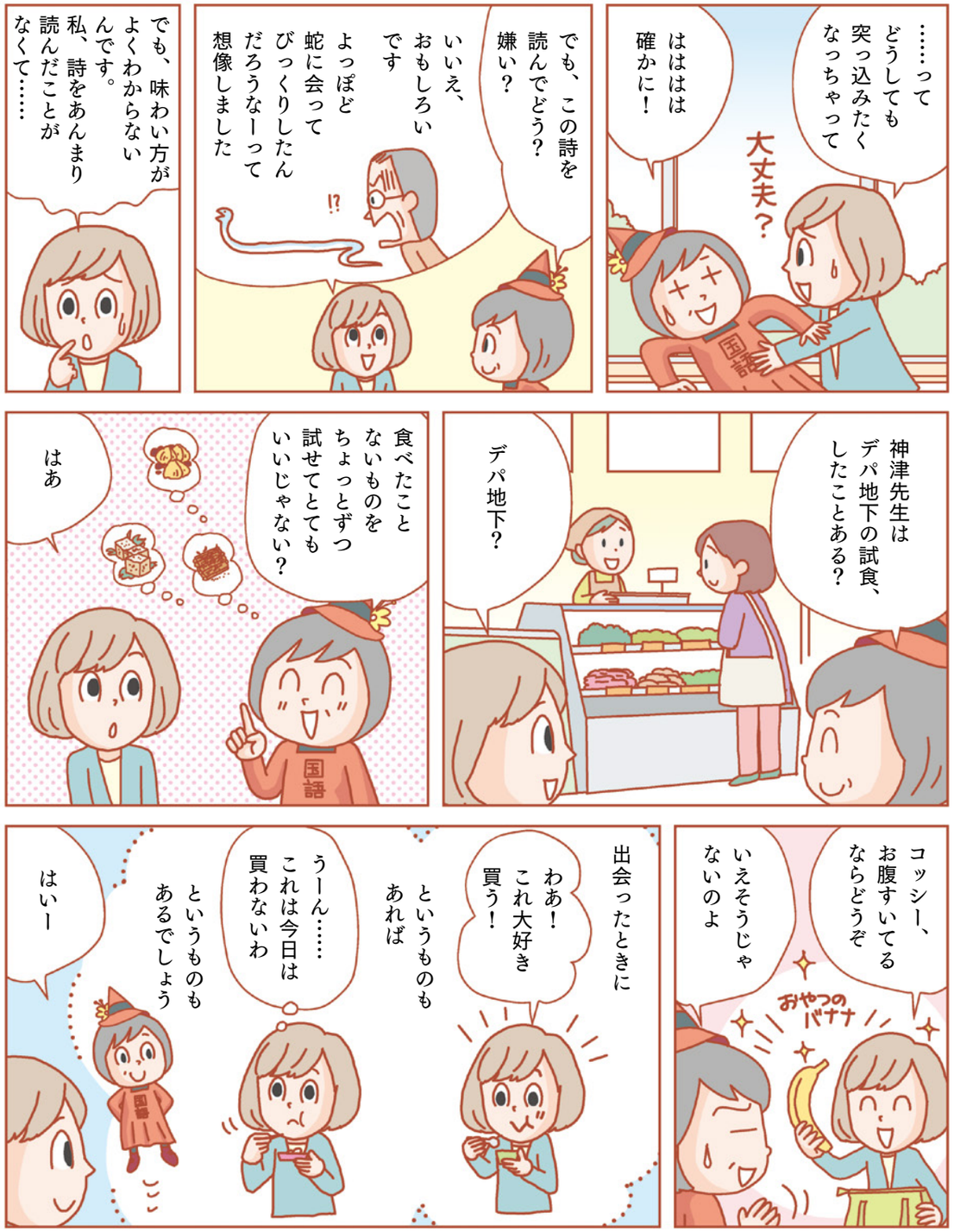
教えて！　詩の授業

作・画／あべかよこ　監修／興水かおり

興水かおり こしみず・かおり
広島県生まれ。元玉川大学客員教授。23年の教員生活の後、港区教育委員会指導主事、東京都教育庁主任指導主事、小学校校長、玉川大学客員教授等を務める。光村図書小学校『国語』教科書編集委員。



詩は試食と同じように
まずは出会って知ることが大事！
好き、嫌いがあって当然
でもまずたくさんの詩と出会ってほしい
だから教科書にはいろんな趣向の詩がたくさん載っているのよ
壮大な風景のような詩
リズムにのって踊りたくなる詩
読んだ後なんだかしみじみとする詩
なんとなく「いいな」と思う詩があったら、その作者の詩をさらに読んでみて
詩集
子どもにも詩の試食をすすめてほしい
何これ！
まあ、ひと口食べてごらん
おいしくなーい！って言われたら？
うん、それはそれでOK
食べたことがない味
不思議な味
いろいろな詩に触れておくことが自分の「好き」を見つけるためにも大事なのよ
経験……なんですね

それに、詩は、短い言葉で書かれているからこそいろいろな感じ方や読み方ができるの
私はこの詩がおもしろいです理由は……
僕はこれが好きですここが……
みんなが違いを持ち寄って対話ができる
そして、やっぱり音読はやりましょう
声に出すと詩の語感やリズムを味わえるわ
伸びられぬ日は伸びぬなり
伸びられる日は伸びるなり
高見 順「われは草なり」
もう一つは視写
句読点がなかったり極端についてたりする詩もあるわ
点や丸にも詩人の思いがこもっているからね
歌になっている詩を楽しんだりお気に入りの詩をプレゼントし合ったりしてもいい
こんなに言葉を楽しめるのは詩の授業ならでは！
うん！なんかいけそうな気がしてきました！
蟻が蝶の羽をひいて行く
「土」三好達治
ああ ヨットのやうだ
先生どうしたの？
ヨットになりきるんだって